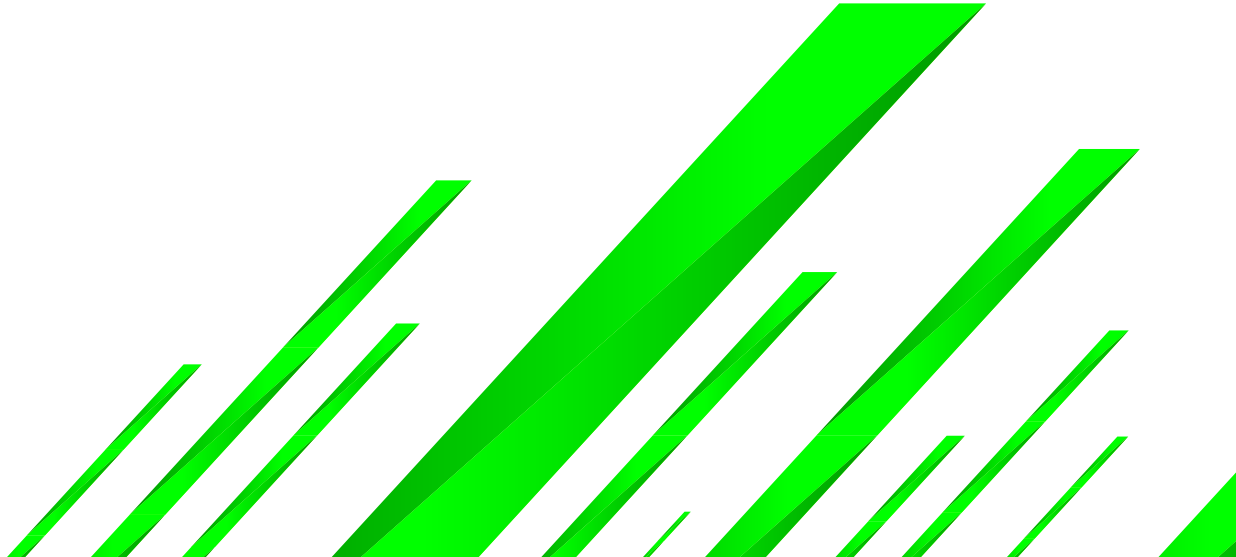


GXリーグ準備期間(2022年度)の 活動について

2022年5月11日 GXリーグ設立準備事務局

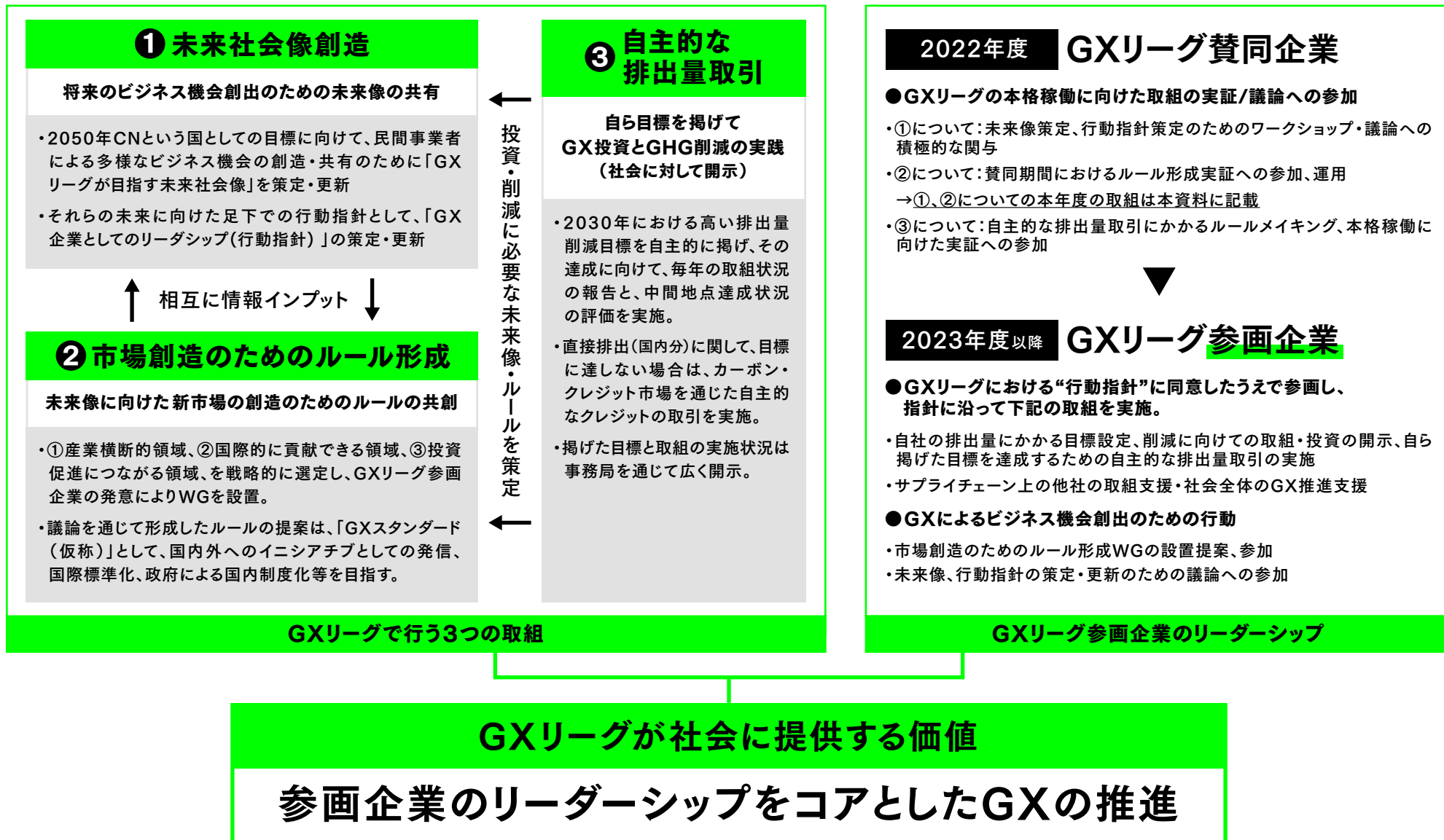
※GXリーグ賛同企業に配布済資料から一部抜粋・修正したものです。



2023年度以降のGXリーグの具体的な機能と
2022年度における実証の取組の関係性

GXリーグ本格稼働時に目指すもの(2023年度以降)

- GXリーグは、下記の3つの取組と参画企業のリーダーシップを通じて、カーボンニュートラルに向けた社会構造変革のための価値を提供することを目指します。



GXリーグ本格稼働に向けた実証(2022年度 実施事項)

- 2022年度においては、「GXリーグ賛同企業」と「GXリーグ設立準備事務局」との議論・情報共有を通じて、2023年度以降の本格稼働に向け、3つの取組について、それぞれの取組の実証を行います。
また、GXスタジオ設置や情報共有コミュニティ開設などを通して、コミュニケーション方法や組織体制等の実証も同時に行います。

「GXリーグ」の土台をつくるための実証

組織体制の実証

GXリーグの本格稼働に向けた、組織体制・運営規程・具体的な取組内容の議論・策定
GXリーグにおいて設置する3つの取組を通じて目指すべきアウトプットの明確化・共有

運営規定の策定・提示

GXリーグ賛同企業

(※前頁再掲)

- GXリーグの本格稼働に向けた取組の実証/議論への参加
- ・①について:未来像策定、行動指針策定のためのワークショップ・議論への積極的な関与
- ・②について:賛同期間におけるルール形成実証への参加、運用
- ・③について:自主的な排出量取引にかかるルールメイキング、本格稼働に向けた実証への参加

GXリーグに向けた3つの取組の実証

【先んじて本格稼働後の取組を実証】

① 未来社会像創造

・賛同企業によるワークショップ・議論を通じて、GXリーグの本格稼働に向けた「未来社会像(2050CN実現に向けた10個の未来ビジネス機会)」、「GX企業としてのリーダーシップ(行動指針)」の素案を策定。

↑ 相互に情報インプット ↓

② 市場創造のためのルール形成

・官民でのルール形成を行うためのメカニズムを実証。まずは、賛同企業からの発案を受け入れつつ、事務局にて2~3のWGを設置し、ルール形成のひな形作りを行う。

【まずは詳細ルールを検討】

③ 自主的な排出量取引

・2023年度からの取組実施に向けて、各事業者の目標設定方法・実績の確認手法等について、詳細なルールを議論。
・市場を通じたクレジット取引等については、一部取引システムに係る実証を実施。(賛同期間内に実績排出量の算定や目標のコミットは求めない。)

← 投資・削減に必要な未来像・ルールを策定 ←

GXリーグ準備事務局

(政府が事務局機能を担う)

- GXリーグという場のルール作り
- ・本格稼働時の組織体制・運営規定類・具体的な取組事項の素案提示
- GXリーグに向けた取組の実証の実施
- ・①について:未来像策定のための未来対話の方法論やインプット情報提供
- ・②について:賛同期間におけるルール形成実証のためのWG設置/運用、運用支援
- ・③について:自主的な排出量取引にかかるルールの素案提示

GXスタジオ(仮)

- 賛同企業による議論の内容・取組については、賛同企業外の社会に対して開示し、外部の有識者・生活者からのインプットを行う場として、定期的な開催を行う。

チャットワークツール等を活用し、オープン・フラット・スピーディーなコミュニケーションの実証

GXリーグにおける3つの取組(場)の関係性

3つの取組(場)のキーアクション、機能および目指す成果

●3つの取組の実証を進める際、3つの場が生まれます。それぞれの場では各機能・手法により、社会に対して異なるアウトプットの創出を目指します。

①未来社会像創造 → ①「対話」の場

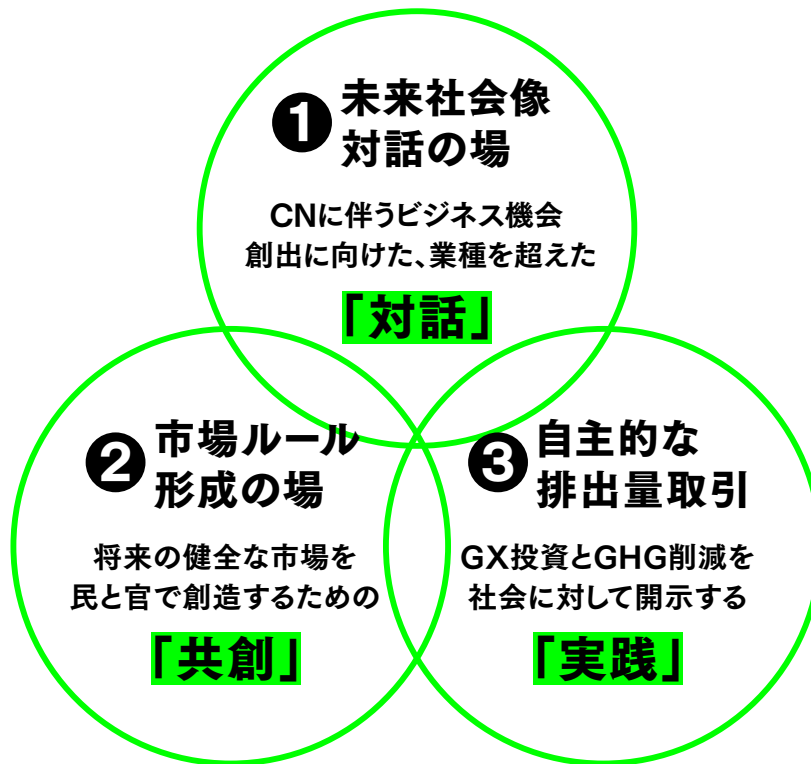
機能	2050年カーボンニュートラルの未来像及びそこに至る移行像を「対話」を通じて創造する。		社会へのアウトプット	社会に対して、左記の(1)(2)を共有し、生活者も含む社会に対して、GXリーグとして目指す姿を示す。
	手法	2022年度 業種を超えた自由な対話・ワークショップ形式での議論を通じ、 (1)2050CNにおけるビジネス機会、 (2)GX企業としてのリーダーシップ(行動指針)の2つを作り上げる。 2023年度以降 2022年度に策定した内容をベースに、社会との対話を通じて、 不断の見直しを継続する。		

②市場創造のためのルール形成 → ②「共創」の場

機能	官民によるルール形成(共創)の挑戦		社会へのアウトプット	議論の成果は、「GXスタンダード(仮称)」として、国内外へのイニシアチブとしての発信、国際標準化、政府による国内制度化等を目指す。
	手法	2022年度 官民によるルール形成メカニズムを実証。事務局にて2~3のWGを設置し、2022年度内に具体的なルール形成のひな形作りを行う。 2023年度以降 2022年度の試行を踏まえて、WGを組成。長期的な議論が必要なアジェンダも含めた取組を進める。		

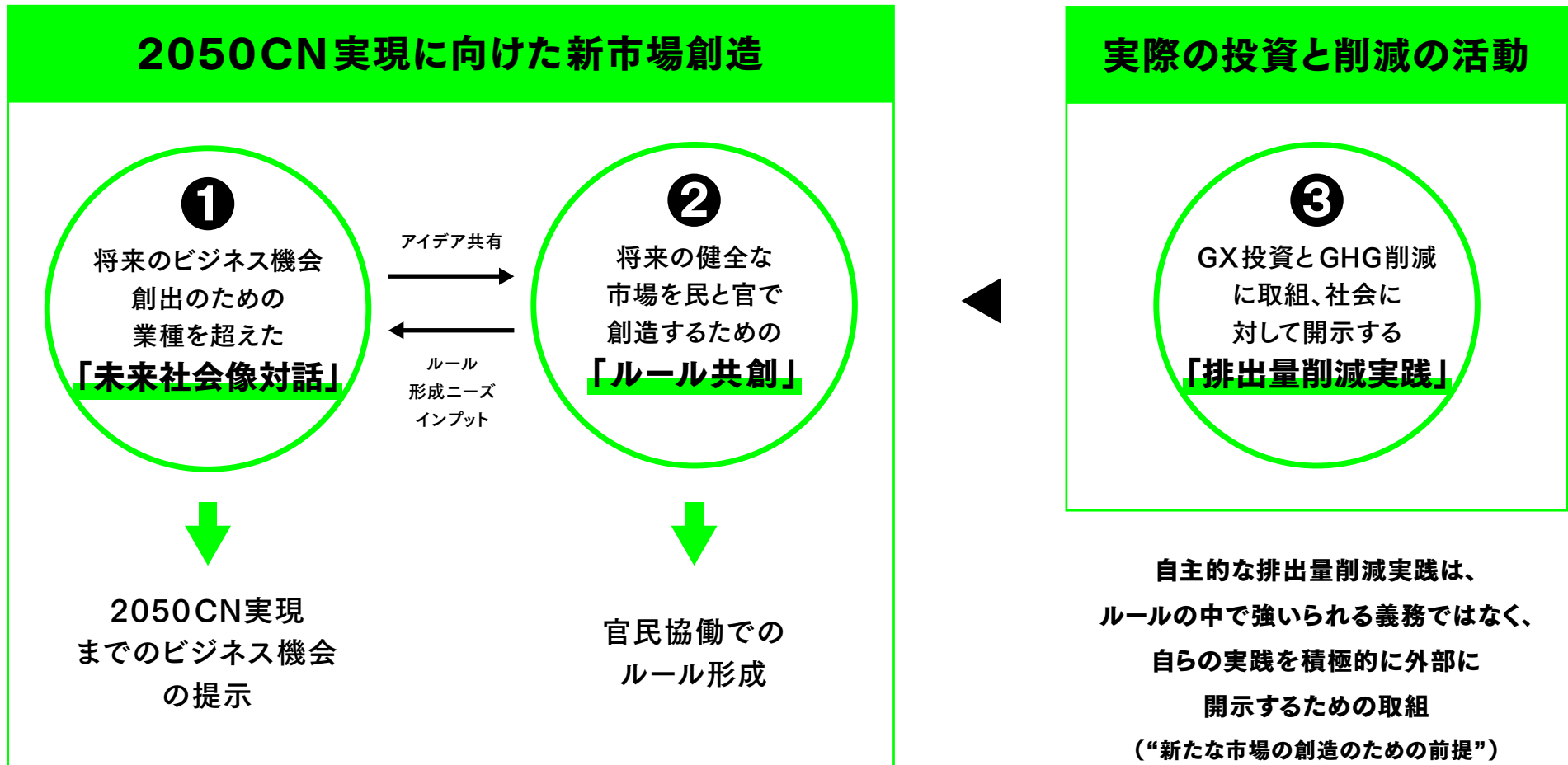
③自主的な排出量取引 → ③「実践」の場

機能	2030年に向けた野心的な排出量削減目標を掲げる企業による実践		社会へのアウトプット	企業の取組の開示を通じて、資本市場・労働市場・消費市場から、GX企業が評価される環境を構築する。
	手法	2022年度 自主的な排出量取引の実施のための基本的なルールを整備する。 2023年度以降 2022年度に合意したルールに従い、参画企業による自主的な目標の掲示を行い、その目標達成に向けた削減実績と投資を開示する。		



3つの場の関係性(“新市場の創造”と“投資と削減の実践”)

- 未来社会像対話と市場ルール形成は、互いにニーズとアイデアを共有しながら、**新たな市場の創造に向けた連携**を行うものと位置づけて、取組を進めます。
- 自主的な排出量削減実践は、**新たな市場の創造に向けた議論に対する足下の実践活動**として位置づけ、GX企業が新たな市場の創造を行うにあたって必要な外部からの評価を得るための、投資と削減実績の開示を行います。



賛同企業の皆様との議論の進め方

2022年度のGXリーグ設立にむけた準備スケジュール

- まずは、未来社会像の創造に向けた議論から開始し、7月以降に市場ルール形成のモデル作りや、自主的排出量取引の実施に向けたルールメイキングの議論を開始する。

2022年度

2023年度

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

GXリーグという場のルール作り

準備期間の取組に向けた事務局準備

各議論参加企業募集

GX本格始動に向けた運営規程等の整備

4/1 賛同企業公表

準備期間

① 賛同企業による、ビジネス創造のための未来像の対話

2050CN実現に向けて、企業としての行動指針策定や賛同企業によるビジネス機会の発見のため、未来洞察ワークショップの開催、GXリーグが目指す未来社会像の作成等

参加者募集

← インプット

← 未来像(ビジネス機会)創発

← 未来像の磨き上げ・可視化

実証準備

- ①各賛同企業+事務局における、“互いを知る”ためのコミュニケーション
- ②各賛同事業社からの具体的な取組実施要望事項の収集を通じて、準備期間も含めた1年間の具体的な活動イメージを提示

② 市場創造のためのルール形成の準備

まずは、賛同企業からの発案を受け入れつつ、2~3のWGを設置し、ルール形成の取組事例の構築に向けた議論・実証

← 参加者募集

← WGを組成して議論~評価

③ 自主的な排出量取引の準備

自主的な排出量取引の実施に向けたルールメイキング

本格稼働期間へ移行

① 未来社会像創造の場：具体的な活動

● 位置づけ・活用イメージ

2050CNが実現した未来の経済社会システムを「ビジネス機会」として描き、官民ルールメイキングや賛同企業の中長期の経営戦略・事業開発・研究テーマ開発などに活用できるものとしてまとめます。(バックキャストによる将来機会開発)

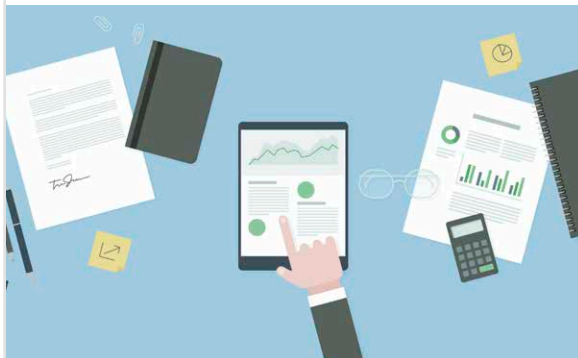
〈例：賛同企業440社と考える、10個のGXビジネス機会、など〉

STEP 1

インプットリサーチ (～6月)

未来像を導出するための
各種インプットの作成
(事務局実施)

- ・確度の高い未来予測
 - ・不確実要素を含む暮らし変化の兆し
- ※STEP2にて共有・討議します



STEP 2

未来像(ビジネス機会)創発 (～9月)

未来洞察WSによる
未来像(将来ビジネス機会)の
創発

- ※業種横断WSによる協創スタイル
- ※6月上旬～7月上中旬にかけて
計3回のWSを予定



STEP 3

未来像の磨き上げ・可視化 (～3月)

STEP2で導き出した
未来像の精緻化、可視化

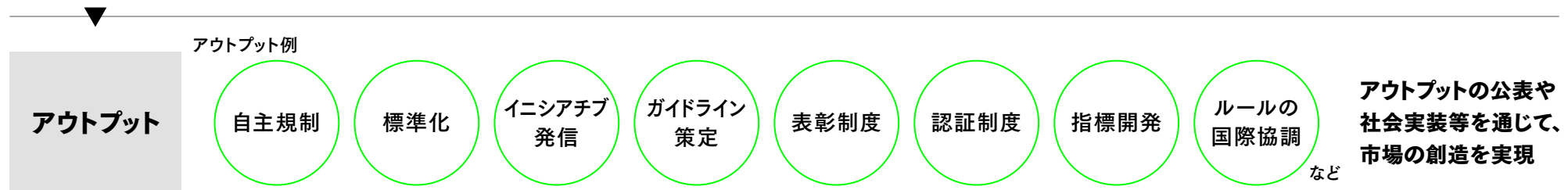
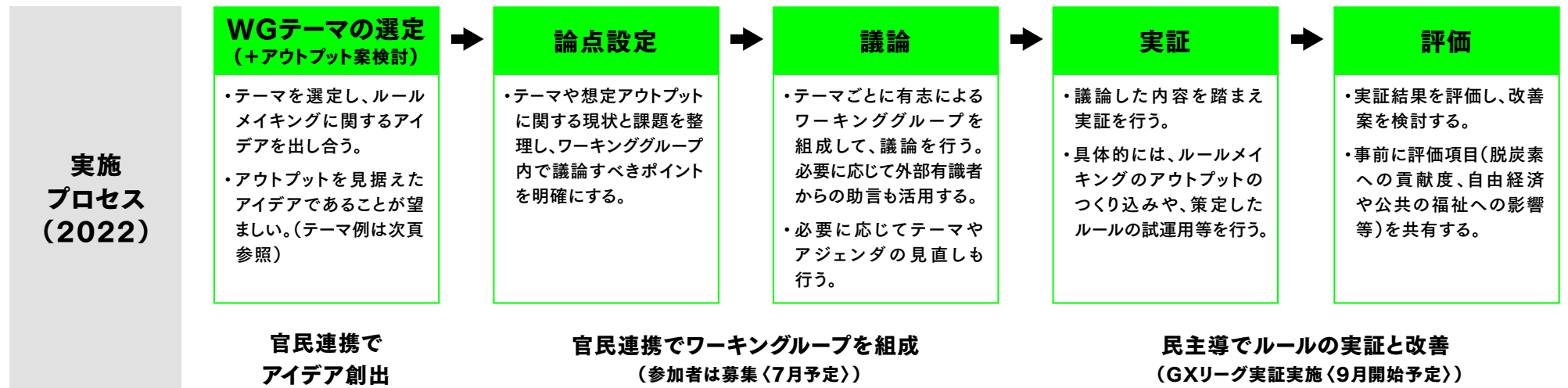
- ※GX機会発見マップ、書籍などを想定
- ※9月下旬～11月上旬にかけて
1～2回のWSを予定

未来像に含まれる要素(案)

- ・2050CN暮らし変化
 - ・その時普及する商品サービス
 - ・主要な市場プレーヤーとその役割
 - ・関連する技術・制度の移行イメージ
- ※詳細については取組の中で検討します

② 市場ルール形成の場: 具体的な活動

- 「②市場ルール形成の場」とは、将来のビジネス機会を踏まえ、新市場創造に向けて官と民でルール形成を行う場です。
テーマ別に設定するルールワーキング・グループ(WG)では、ルールの設計から、実証、さらには世界に向けた発信等を行っていくことを目指します。
- 2022年度は、官民共創によるルール形成のメカニズムについてひな形作りを行います。まずは、賛同企業各社からのニーズ等を踏まえ、事務局としてWGを2~3設置し、参加者を募ります。



国内制度化

政策に関連する議論には、関係省庁担当課もオブザーブ参加し、アウトプットも参照しながら、必要に応じて国内制度化の議論を進める。(全てのアウトプットについて国内制度化を目指すものではない。)